

## 前年度に引き続き、01 年度も業界トップクラスのビジネスモデル特許出願！！

～自由化進展に伴う、商品・サービス・システム開発競争の源泉である知的財産重視戦略へ～

平成 14 年 7 月 18 日

あいおい損害保険株式会社（本社：東京都渋谷区恵比寿 1 丁目 28 番 1 号、社長：瀬下 明）は、経営戦略・市場競争力の柱となる知的財産を重視した先進的保険会社を目指し、ビジネスモデル特許の出願を積極推進した結果、2001 年度におきましては 15 件の特許出願を果たし、昨年度の 21 件と併せ累計で 60 件強にも及ぶ業界トップクラスの特許出願実績を挙げました。

### <取組み経緯>

保険業界における自由化競争の進展により、商品・サービス・システム開発がその差別化の要件となりつつあり、また銀行、証券等の金融機関においても、知的財産の重要性がクローズアップされビジネスモデル特許の出願件数が増加傾向にある中、当社においても知的戦略面における優位性ならびに他社差別化を確立するため、以下の取組みを進めてまいりました。

- （１）新会社誕生に伴い発足しました「特許プロジェクト」を中心に、各部の特許候補案件の発掘強化に努めてまいりました。
- （２）また、「社内ベンチャー」および「新規プロジェクト」の社内公募制度の導入に加え、ビジネスモデル特許に係る発明奨励のため、1 件あたり最大年間 1,000 万円の報償規程を盛り込んだ職務発明規程を整備し、アイデア募集を行うなど、全社的な特許創造風土を醸成してまいりました。
- （３）昨年 10 月には、IT を活用した新たな経営推進の枠組み（ビジネスモデル）を確立するため、IT 戦略部を新設するなど、特許創造体制の拡充を図りました。

### <01 年度主な出願案件>

- （１）コンビニエンスストア等における保険契約業務支援システム及び方法

従来、代理店にあわせて何種類もの帳票用紙を作成し、契約の申込みを受付けておりましたが、コンビニエンスストアの店舗内に設置されている端末装置を使って、保険契約に必要な選択項目を順次入力・申込みされたものを白紙用紙に保険証券を印刷・発行できるシステムです。これにより、帳票用紙が不要となることから、事務の効率化が図れるものと考えております。

- （２）過去の交通事故情報に基づいて車両を安全に走行させることができるナビゲーション装置

保険会社や公共機関等が保有する過去の交通事故情報を蓄積・分析し、交通事故の危険性の高い場所を抽出し、車両が安全運行するためにナビゲーション装置にその情報を提供するものです。

( 3 ) 損害調査支援システム

衝突車両の損害を判断する際、車両の損害部位の「高さ」や「形状」をビジュアルに確認し、適正に処理することを可能にするシステムです。事故処理担当者が、蓄積された車両の損害情報を活用し、適正な保険金支払を行うことで、損害率の低下に寄与するものと考えています。

( 4 ) 自動車の運行運行監視システム

車両の危険運転状態を検出し、通信回線を介して運行監視センターへ送出し、その危険運転情報に基づき、該当する車両に対しリアルタイムで運転手に注意・警告するシステムです。

( 5 ) 盗難防止支援装置及び盗難防止支援システム

エンジンキーを付けたままの状態でもドアを閉めて、一定時間経過した場合に自動的にドアを施錠する装置です。ドアの閉塞は、車載端末に接続されたセンサーから検出する仕組みとなっています。センターには事前に、自宅・営業所等の駐車場所（経度・緯度・高度）を登録しておき、自動車を駐車場所に置いた時に自動的に警戒状態に入るシステムです。

( 6 ) 交通安全提案書作成装置及び交通安全提案作成システム（フリート・リスク・マネジメントシステム）

企業を 業種（運送／建設／製造他） 規模（上場／中堅／小規模） 事故実態（ダメ状態／アラム状態／優良状態）及び 地区（大都市／地方都市）ごとに分類・パターン化し、「事故低減プログラム」を作成・提案するシステムです。

今後も本取組みを実施し、先進的保険会社としての企業ブランドを確立するため、企業経営を側面支援する知的財産戦略を強化してまいります。

以上